



雨ニモマケズ

今年は天候まで異例の梅雨。毎日雨が降り、九州をはじめ各所で災害が発生しています。減少していた新型コロナウイルスの陽性者も再び増え始めました。そうした中で学校生活が送れることに感謝したいです。学校では新しい行動様式を意識し、ご家庭でもこれまでどおりではないことを考え、実践していることでしょうか。雨や曇り空が続くと、気分も前に向きづらいです。毎朝、今日は雨なのか、最新の天気予報を見て、空を見上げて、制服で行こうか、傘をどうしようか、自転車通学者はカッパを着ようか迷います。「学校に車で送ってもらうのは違反じゃないの？」徒歩や自転車で雨に濡れて登校する生徒の校門前の声です。車が通るので、横断歩道を濡れて待つ生徒たちが不憫です。雨の日は残念ながら、登校時刻に車が増えて集中します。ある日などは学校前の通りに車の列ができました。近隣の方は通勤で通るのにお困りでしょうか。幼稚園バスも待っています。車での送迎は、それぞれに事情はあるのですが、怪我などでよほどのお困りの方に限っており、雨などの送迎はお断りしています。送迎車が1台で学校前の横断歩道付近を2回通るので、50台来ると100回車が通ることになります。その都度生徒たちは通過を待ったり、車を気にかけて渡ります。600人を超える生徒の多くが車で送られてくることはないでしょうが、「他の人がそうなら。」「1台くらいいいだろう。」という気持ちの人が増えることを危惧します。登下校では、交通ルールやマナー、態度などで学校に時々ご指摘があります。対応を考えたり生徒に伝えたりしています。ご家庭でも登下校のルール、マナーはお話ししていると思いますが、車の送迎は一考してほしいことです。

★ ☆ 学びと読書のススメ ☆ ★

学習指導要領では、中学校の標準授業時数は、5教科（国、数、理、社、英）合計で年間630～665時間（学年で違う）と定められ、授業を行っています。1時間の授業は50分なので、実質525～554時間です。スマホ等の端末を見たり、テレビ・ゲームを毎日2時間続けたとすると年間730時間。これは9教科（音、美、保体、技家を加える）を合計した授業時数と同じくらいです。授業の時間はとても大切。そして、自分の時間をどう使うかは、もっと重要です。学びの効果が最も高い中学生の時期だからこそ、学びと読書をしてほしいです。

公津の杜中の活動目標 ②「返事」

「はい」と返事ができる。あたりまえにできそうで、意外にできないことです。何かを問いかけたり話しかけると、頷くことはありますが、「はい」「いいえ」などの返事の声が聞こえることはまだまだ少ないです。社会人になると、とても大切なことだとわかります。挨拶や返事をする練習から社会人の始まりを迎える職場もあります。ネットで直接コミュニケーションを取りにくい社会になっても、返事、返信は大切なこと。学校では「あたりまえにできる」習慣を身につけてほしいです。

ヘルメットを探しています

学校には徒歩通学者用の貸し出し用ヘルメットがあります。卒業時に寄付していただいたものや購入したものです。数を確かめると、少なくなっていました。管理が十分ではなかったところもあるのですが、返却されていないものがあるのはとても残念です。最近、卒業生の親御さんから、借りたままで申し訳ありませんと返却があり、気にかけていただいたのは、とてもありがたかったです。現在、夏休みからの貸し出しの準備のため、一旦全てを回収しています。家にある方は一度返却し、次に借りるとき、改めて手続きをお願いしています。